

アカコッコのためにできること

その1 畑の作業

- ・アシタバ畑のように、森に隣接して地面が見えているエサが取りやすい場所を増やす（一か所の面積は、広くなくて大丈夫です）
- ・畑の周囲に草木やササが生い茂って地面が見えない場所があったら、作業のついでに刈り取って地面が見える所を少し増やす



その2 落ち葉かき

- ・アカコッコが好きなエサであるミミズや小さな虫たちが増えるように、庭や通路、畑の周囲や隅に落ち葉を残す
- ・道のわきに落ち葉が残っていると、ミミズが潜れないので良いエサ場になることも！



その3 お庭の手入れ

- ・庭の周りに草が伸びている場所が残っていたら草むしりをしてアカコッコのエサ場を広げる



その4 下草刈り

- ・森をもっていて作業ができる方は、林床のつるやササ、下草、藪を取り除いて落ち葉が積もる地面を出してアカコッコのエサ場を増やす
- ・刈った草を積んでおいてミミズなどを増やす



アカコッコは木の枝や低木に巣を作ります。広い面積をきれいに刈りはらうのではなく、木や藪も残しながら開けた場所を作っていくことが大切です。

森には下草や藪が必要な鳥たちもいるので、刈る場所と刈らない場所のバランスを取る必要があります。詳しくはレンジャーに相談してみましょう！



コマドリ

アカコッコ保護事業についてはFacebookをご覧ください
<https://www.facebook.com/1628821990765699/>

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館

〒100-1211
 東京都三宅島三宅村坪田4188
 ■TEL 04994-6-0410
 ■FAX 04994-6-0458
 ■E-mail miyakejima@wbsj.org
 ■http://park10.wakwak.com/~miyakejima/

■開館 9:00~16:30
 ■休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
 ■利用料 200円
 （15名以上の団体は1人160円、中学生以下と65歳以上は無料）



アカコッコとの暮らし方



三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館

島のお宝!?

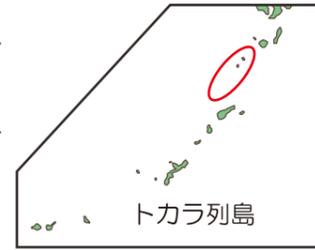
アカコッコは、日本だけに住む絶滅が心配されている鳥ですが、三宅島では庭先にも姿を現す馴染み深い鳥で、私たちの心を和ませてくれる、三宅島を代表する鳥です。三宅島はアカコッコが見られる場所としてとても有名で、アカコッコは全国から多くのバードウォッチャーを呼び寄せる魅力を持った鳥でもあります。



三宅島といえばアカコッコ。たくさんの方がアカコッコを見に来島します。



伊豆諸島・三宅島はアカコッコにとってとても大切な楽園です!



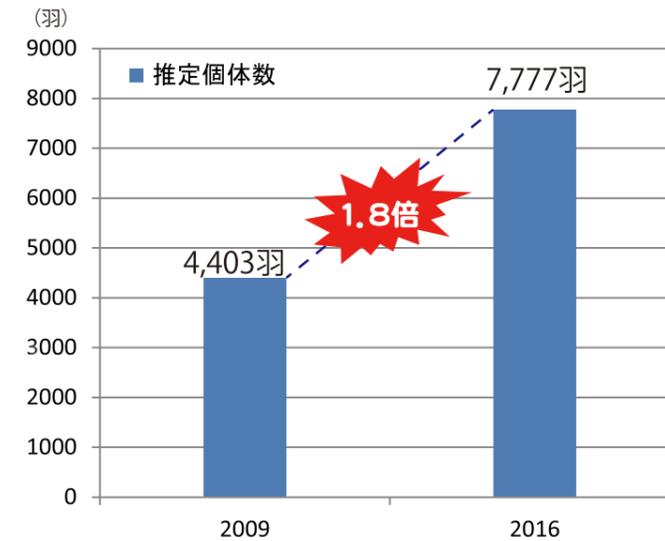
○ アカコッコが1年を通して利用している地域

アカコッコが好きな環境

アカコッコは、常緑広葉樹がはえた照葉樹林を好みますが、森の中が藪やササなどで込み入ってしまうと数が少なくなります。所々にエサが取りやすい開けた場所や畑があると多くのアカコッコが住むことができます。また、水浴びや水飲みができる水場もアカコッコにとってとても大切です。

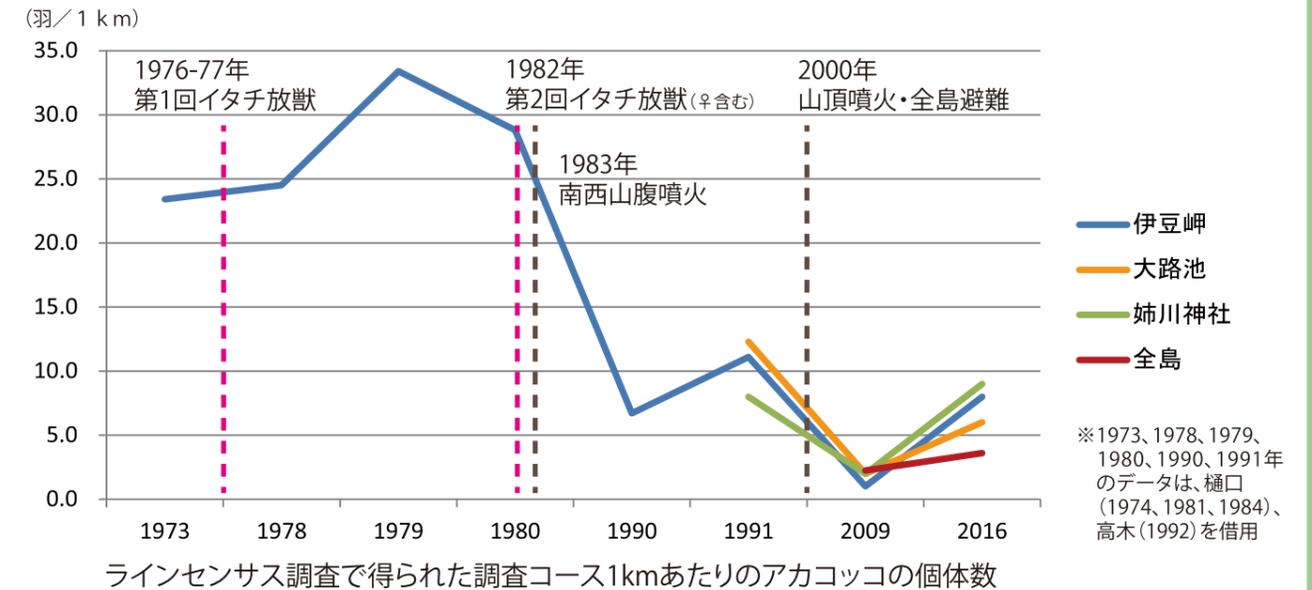


三宅島のアカコッコの今



調査結果から推定した三宅島全島のアカコッコの個体数

アカコッコの個体数は2000年の噴火の後、激減してしまいました。しかし、2016年に島民の皆さんと全島で個体数調査をしたところ、2009年の調査とくらべて1.8倍まで個体数が増えていました。それでもまだ昔に比べると個体数が少ない状況です。さらにアカコッコの個体数を増やすために、アカコッコの住みやすい場所を増やす取り組みも必要になっています。



ラインセンサス調査で得られた調査コース1kmあたりのアカコッコの個体数

※1973、1978、1979、1980、1990、1991年のデータは、樋口(1974、1981、1984)、高木(1992)を借用

アカコッコの森づくり活動



アカコッコ館に隣接する村有林をお借りして、ボランティアさんと林床に繁茂したツルや下草、込み入った藪を刈り取り、落ち葉が見えるようにしました。